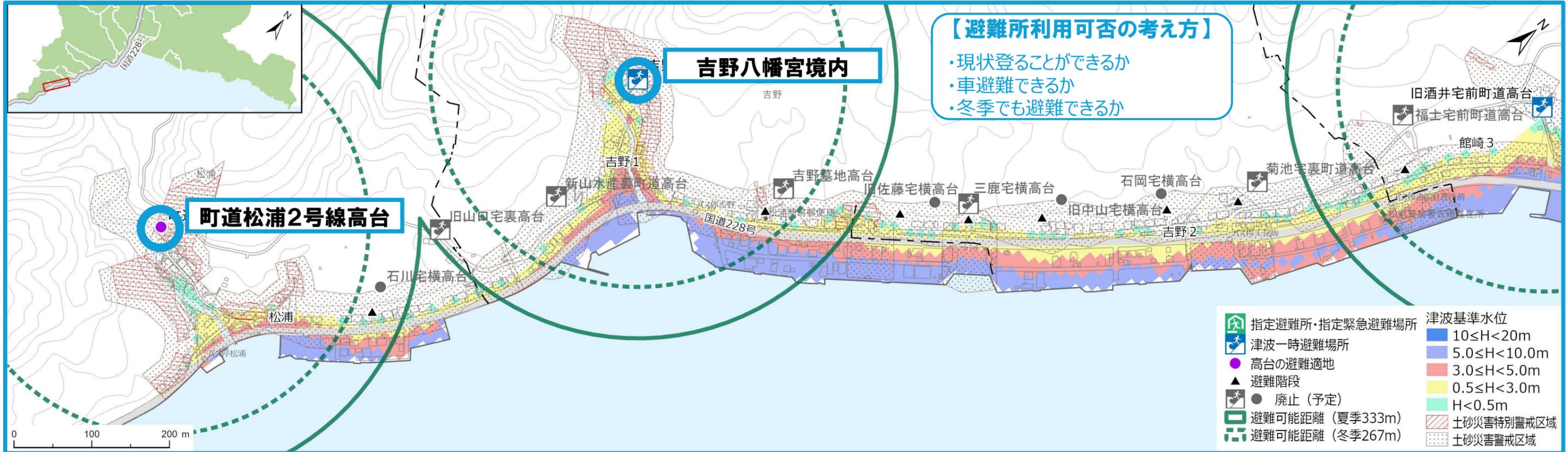


【沿岸部】松浦・吉野地区の津波避難困難地域



×石川宅横高台×

・階段がツタで覆われており、登攀ができないことから廃止

×吉野墓地高台×

・車での避難ができないことや冬季における一時滞在の手段がないことから廃止（緊急時の避難は可能）

×石岡宅横高台×

・階段及び敷地には草木が生い茂っており、冬季は敷地周辺の積雪量も多いことから廃止

×旧山口宅裏高台×

・冬季は路上に吹溜りがあることや、上部にかけて積雪が多くなることから廃止（緊急時の避難は可能）

×旧佐藤宅横高台×

・階段は草木が生い茂っており、敷地も草木で覆われていることから廃止

×三鹿宅横高台×

・車での避難ができないことや冬季における一時滞在の手段がないことから廃止（緊急時の避難は可能）

×新山水産裏町道高台×

・階段がツタで覆われており、登攀ができないことから廃止

×旧中山宅横高台×

・下部の時点でその先の階段を確認することができないことから廃止

×菊池宅裏町道高台×

・冬季は敷地周辺の積雪量が多いほか、車避難ができないことから廃止（緊急時の避難は可能）

松浦町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
2.96ha	35人	18世帯

津波避難困難地域 ○（避難対象地域一帯）

備考

・特に沿岸部東側エリアの住民は、冬季における「町道松浦2号線高台」への徒歩避難が難しい

吉野1町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
4.72ha	49人	25世帯

津波避難困難地域 ○（避難対象地域一帯）

備考

・特に沿岸部両端に居住している住民は「吉野八幡宮」への徒歩避難が難しい

吉野2町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
5.35ha	65人	35世帯

津波避難困難地域 ○（避難対象地域一帯）

備考

・一部を除いて町内会の大部分が津波避難困難地域に設定されており、緊急時以外は徒歩での避難が難しい

【沿岸部】松浦・吉野地区の津波避難方針

松浦町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
2.96ha	35人	18世帯
津波避難困難地域	○（避難対象地域一帯）	

津波避難方針

避難先	町道松浦2号線高台	
避難方法	徒歩避難：△	車避難：○
備考	<一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など> ・町道松浦2号線高台への車避難を基本 ・車中泊or近隣の民家への一時滞在 （その後指定避難所へ移動）	

その他整備方針

（町道松浦2号線高台は既に標識を設置済）

平時の活用方針

—

吉野1町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
4.72ha	49人	25世帯
津波避難困難地域	○（避難対象地域一帯）	

津波避難方針

避難先	新山水産裏町道高台・吉野八幡宮境内 トンネルメモリアルパーク	
避難方法	徒歩避難：△	車避難：○
備考	<一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など> ・川を挟んで西側の住民は新山水産裏町道高台、東側の住民は吉野八幡宮またはトンネルメモリアルパークへ避難	

その他整備方針

【新山水産裏町道高台】
【吉野八幡宮境内】
・標識の設置

平時の活用方針

—

吉野2町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
5.35ha	65人	35世帯
津波避難困難地域	○（避難対象地域一帯）	

津波避難方針

避難先	トンネルメモリアルパーク	
避難方法	徒歩避難：×	車避難：○
備考	<一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など> ・緊急時以外は車避難を基本とする ・車避難の場合は途中停車せず、必ずトンネルメモリアルパークまで避難	

その他整備方針

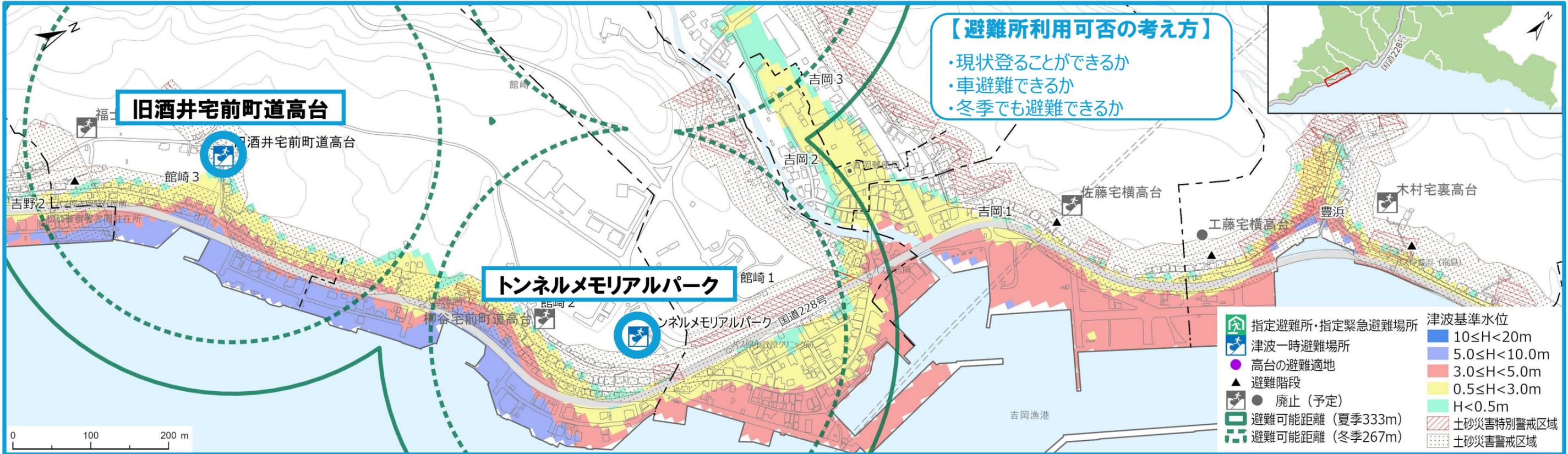
【トンネルメモリアルパーク】
・備蓄コンテナの整備

平時の活用方針

・地域交流拠点



【沿岸部】館崎地区の津波避難困難地域



×柳谷宅前町道高台×

- ・トンネルメモリアルパークと近接していることや、道路上への避難により避難人数が限定的になることから廃止 (緊急時の避難は可能)

×福祉宅前高台×

- ・階段は草木が生い茂っており、登攀が難しいことから廃止

館崎3町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
3.73ha	26人	15世帯
津波避難困難地域	×	
備考		
<ul style="list-style-type: none"> ・「旧酒井宅前町道高台」は階段が無いことに加え、周辺に民家が立ち並んでいることから避難先として継続 ・徒歩避難であれば冬季であっても「旧酒井宅前町道高台」への避難は可能 		

館崎2町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
8.75ha	30人	17世帯
津波避難困難地域	○ (避難対象地域一帯)	
備考		
<ul style="list-style-type: none"> ・特に沿岸部西側エリアの住民は「旧酒井前宅町道高台」への避難も考えられるが、冬季においては近隣の避難場所への徒歩避難が難しい 		

館崎1町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
9.08ha	32人	21世帯
津波避難困難地域	○ (避難対象地域一帯)	
備考		
<ul style="list-style-type: none"> ・特に沿岸部東側エリアの住民は、冬季における「トンネルメモリアルパーク」への徒歩避難が難しい 		

【沿岸部】館崎地区の津波避難方針

館崎3町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
3.73ha	26人	15世帯
津波避難困難地域	×	

津波避難方針

避難先	旧酒井宅前町道高台 (トンネルメモリアルパーク)	
避難方法	徒歩避難：○	車避難：△
備考	<一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など> ・徒歩避難を基本とするが、時間に余裕がある場合は車でトンネルメモリアルパークへ避難することも可	

その他整備方針

- 【旧酒井宅前町道高台】
- ・標識の設置

平時の活用方針

- ・地域交流拠点

館崎2町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
8.75ha	30人	17世帯
津波避難困難地域	○ (避難対象地域一帯)	

津波避難方針

避難先	トンネルメモリアルパーク (高台の避難適地①②)	
避難方法	徒歩避難：△	車避難：○
備考	<一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など> ・町内会内の住民は全員トンネルパークへの車避難を基本 ・徒歩避難の場合は高台適地①②へ	

その他整備方針

- 【トンネルメモリアルパーク】
- ・備蓄コンテナの整備

平時の活用方針

- ・地域交流拠点

館崎1町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
9.08ha	32人	21世帯
津波避難困難地域	○ (避難対象地域一帯)	

津波避難方針

避難先	トンネルメモリアルパーク	
避難方法	徒歩避難：△	車避難：○
備考	<一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など> ・沿岸部に居住の住民は車避難を基本 ・東側に居住の住民は徒歩にてトンネルメモリアルパークへの避難も可	

その他整備方針

- 【トンネルメモリアルパーク】
- ・備蓄コンテナの整備

平時の活用方針

- ・地域交流拠点

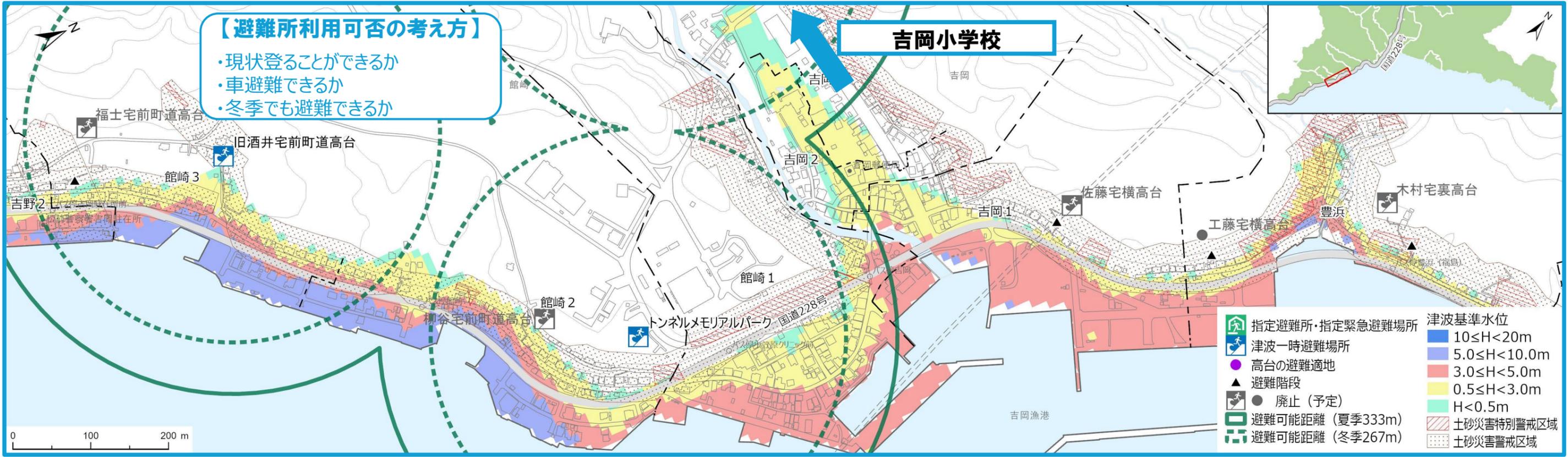


津波が近い時は迷わず近くの山(高台)へ徒歩避難!

【沿岸部】吉岡地区の津波避難困難地域

【避難所利用可否の考え方】

- ・現状登ることができるか
- ・車避難できるか
- ・冬季でも避難できるか



×吉岡小学校グラウンド×

- ・隣に指定緊急避難場所 兼 指定避難所である「吉岡小学校」が別の避難場所として指定されていることから廃止 (緊急時の避難は可能)

×佐藤宅横高台×

- ・階段は草木が生い茂っており、登攀が難しいことから廃止

吉岡2町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
2.26ha	21人	12世帯
津波避難困難地域		○ (避難対象地域一帯)
備考		
・特に南側エリアの住民は「吉岡小学校」への徒歩避難が難しい		

吉岡3町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
11.30ha	6人	4世帯
津波避難困難地域		○ (避難対象地域一帯)
備考		
・特に南側エリアの住民は「吉岡小学校」への徒歩避難が難しい		

吉岡1町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
2.78ha	25人	14世帯
津波避難困難地域		○ (避難対象地域一帯)
備考		
・町内会のほとんど津波避難困難地域に設定されており、緊急時以外は徒歩での避難が難しい		

【沿岸部】吉岡地区の津波避難方針

吉岡2町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
2.26ha	21人	12世帯
津波避難困難地域	○ (避難対象地域一帯)	

津波避難方針

避難先	吉岡小学校 吉岡温泉 ゆとらぎ館	
避難方法	徒歩避難：○	車避難：○
備考	<一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など> ・道道636号沿いの住民は徒歩避難も可能 ・津波がすぐそこまで来ている場合はまず道道636号の道路上へ避難	

その他整備方針

- 【吉岡小学校】・備蓄品の配備
- 【吉岡温泉 ゆとらぎ館】
- ・旧施設を除却し駐車場として整備

平時の活用方針

—

吉岡3町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
11.30ha	6人	4世帯
津波避難困難地域	○ (避難対象地域一帯)	

津波避難方針

避難先	吉岡小学校 吉岡温泉 ゆとらぎ館	
避難方法	徒歩避難：○	車避難：○
備考	<一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など> ・道道636号沿いの住民は徒歩避難も可能 ・津波がすぐそこまで来ている場合はまず道道636号の道路上へ避難	

その他整備方針

- 【吉岡小学校】・備蓄品の配備
- 【吉岡温泉 ゆとらぎ館】
- ・旧施設を除却し駐車場として整備

平時の活用方針

—

吉岡1町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
2.78ha	25人	14世帯
津波避難困難地域	○ (避難対象地域一帯)	

津波避難方針

避難先	吉岡小学校 吉岡温泉 ゆとらぎ館	
避難方法	徒歩避難：△	車避難：○
備考	<一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など> ・沿岸部（国道228号沿い）の住民は特に車避難を推奨。	

その他整備方針

- 【吉岡小学校】・備蓄品の配備
- 【吉岡温泉 ゆとらぎ館】
- ・旧施設を除却し駐車場として整備

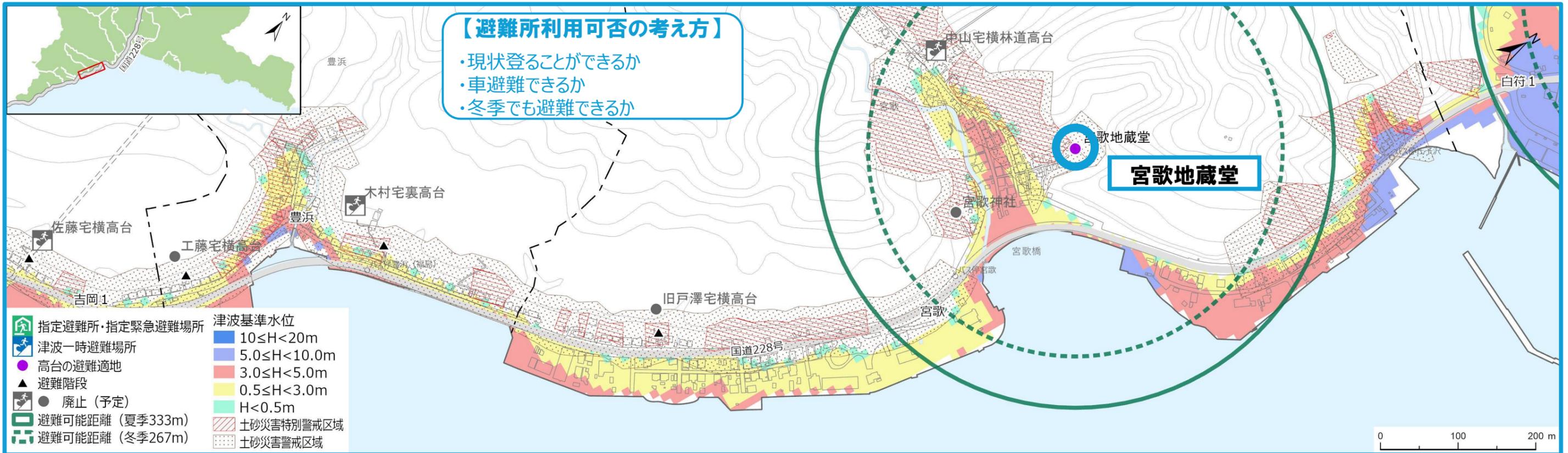
平時の活用方針

—



津波が近い時は迷わず近くの山(高台)へ徒歩避難!

【沿岸部】豊浜・宮歌地区の津波避難困難地域



×工藤宅横高台×

・冬季は敷地周辺の積雪量が多いほか、車避難ができないことから廃止（緊急時の避難は可能）

×木村宅裏高台×

・冬季は階段や敷地周辺の積雪量が多いほか、車避難ができないことから廃止（緊急時の避難は可能）

×旧戸澤宅横高台×

・階段は劣化が激しいほか、草木が生い茂っており、登攀が難しいことから廃止

×宮歌神社×

・冬季は敷地周辺の積雪量が多いほか、車避難ができないことから廃止（緊急時の避難は可能）

×中山宅林道高台×

・冬季は林道が雪で覆われており、避難場所の確保が難しいことから廃止

豊浜町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
2.86ha	53人	29世帯

津波避難困難地域 ○（避難対象地域一帯）

備考

・町内会全体が津波避難困難地域に設定されており、緊急時以外は徒歩での避難が難しい

宮歌町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
11.47ha	79人	48世帯

津波避難困難地域 ○（避難対象地域一帯）

備考

・特に沿岸部の両端に居住している住民は「宮歌地蔵堂」への徒歩避難が難しい

【沿岸部】豊浜・宮歌地区の津波避難方針

豊浜町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
2.86ha	53人	29世帯
津波避難困難地域	○ (避難対象地域一帯)	

津波避難方針

避難先	吉岡方面	
避難方法	徒歩避難：×	車避難：○
備考	<一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など> ・吉岡方面（吉岡温泉 ゆとらぎ館、吉岡小学校）への車避難を基本	

その他整備方針

【宮歌地蔵堂】
・標識の設置

平時の活用方針

—

宮歌町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
11.47ha	79人	48世帯
津波避難困難地域	○ (避難対象地域一帯)	

津波避難方針

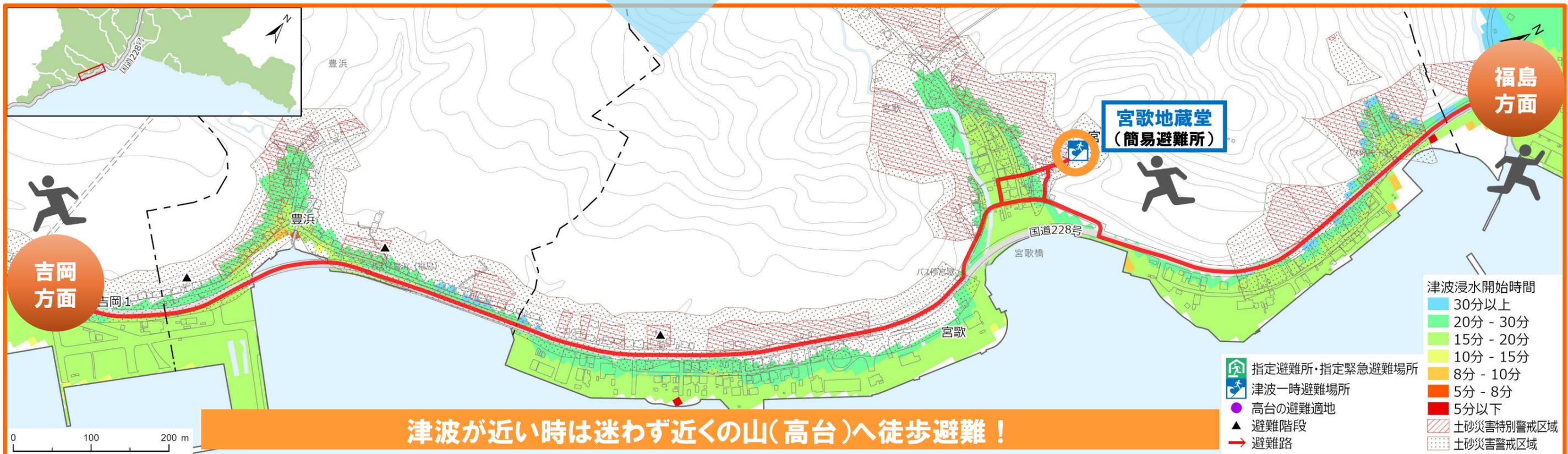
避難先	宮歌地蔵堂、吉岡方面（、福島方面）	
避難方法	徒歩避難：△	車避難：○
備考	<一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など> ・沿岸部に居住の住民は吉岡方面（、福島方面）への車避難を基本 ・内陸部に居住の住民は宮歌地蔵堂への徒歩避難を基本	

その他整備方針

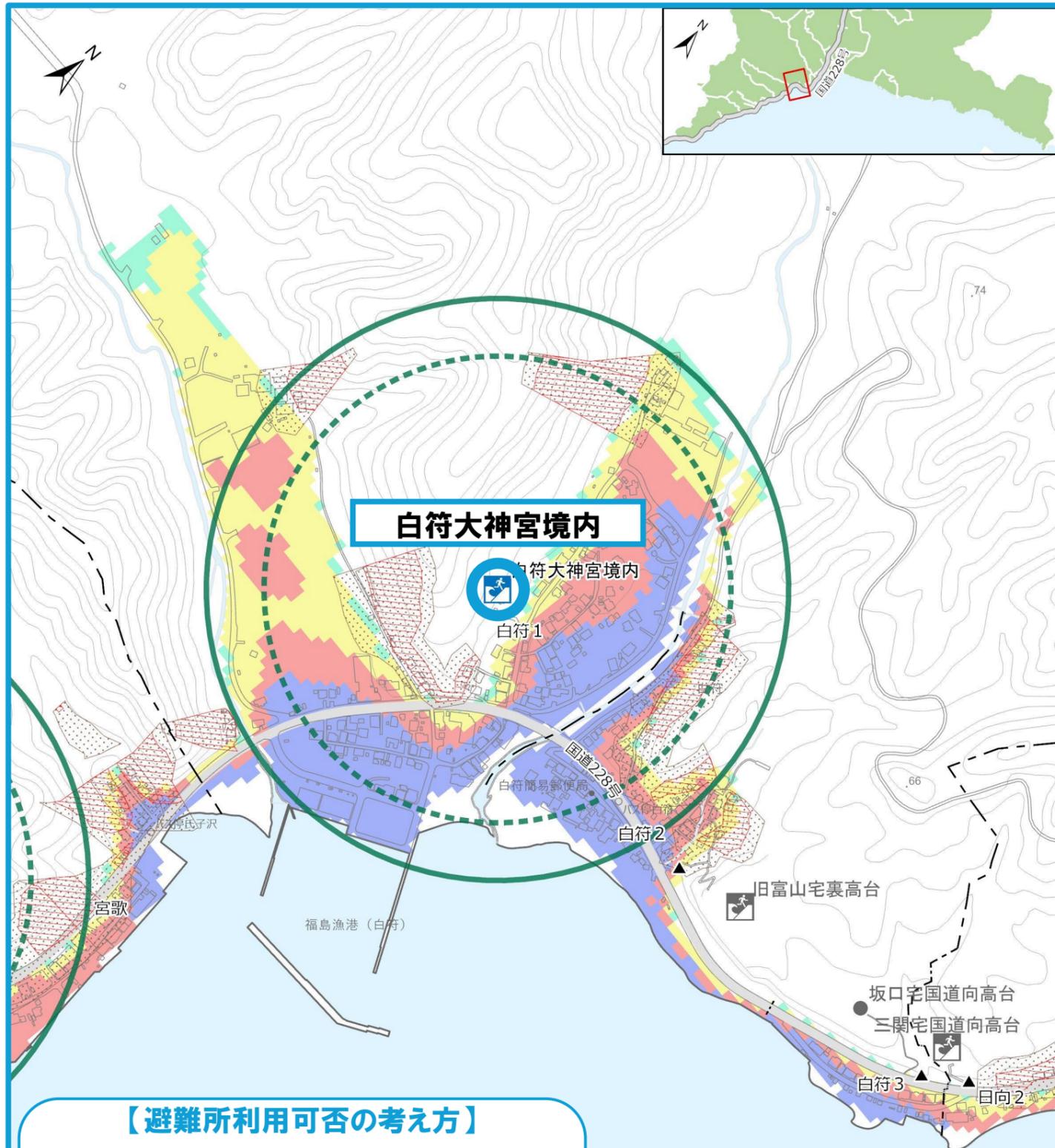
【宮歌地蔵堂】
・標識の設置

平時の活用方針

—



【沿岸部】白符地区の津波避難困難地域



×旧富山宅裏高台×
 ・階段及び敷地には草木が生い茂っており、冬季は階段の積雪量も多いことに加え、クマが出没する危険なエリアであることから廃止

×坂口宅国道向高台×
 ・1年を通して草木が生い茂っており、階段を含め避難ルートの確認ができないことから廃止

白符1. 2. 3町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
10.14ha	124人	75世帯
津波避難困難地域	○ (避難対象地域一帯)	

白符1町内会

備考
 ・一部住民は冬期における「白符大神宮境内」への徒歩避難が難しいほか、西側エリアに居住する住民は津波に向かっての避難を強いられている

居住区域	人口	世帯
3.87ha	46人	27世帯
津波避難困難地域	○ (避難対象地域一帯)	

白符2町内会

備考
 ・特に東側エリアの住民は「白符大神宮境内」への徒歩避難が難しい

居住区域	人口	世帯
0.95ha	20人	12世帯
津波避難困難地域	○ (避難対象地域一帯)	

白符3町内会

備考
 ・町内会全体が津波避難困難地域に設定されており、緊急時以外は徒歩での避難が難しい

【避難所利用可否の考え方】

- ・現状登ることができるか
- ・車避難できるか
- ・冬季でも避難できるか

※白符地区は他の避難先が無い（「旧富山宅裏高台」「坂口宅国道向高台」は使えない）ことから、「白符大神宮境内」を避難先として据置

<ul style="list-style-type: none"> 指定避難所・指定緊急避難場所 津波一時避難場所 高台の避難適地 避難階段 ● 廃止 (予定) 避難可能距離 (夏季333m) 避難可能距離 (冬季267m) 	<ul style="list-style-type: none"> 津波基準水位 10 ≤ H < 20m 5.0 ≤ H < 10.0m 3.0 ≤ H < 5.0m 0.5 ≤ H < 3.0m H < 0.5m 土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域
--	--

【沿岸部】白符地区の津波避難方針



白符1. 2. 3町内会

避難対象地域

白符1町内会

居住区域	人口	世帯
10.14ha	124人	75世帯
津波避難困難地域	○ (避難対象地域一帯)	

白符2町内会

居住区域	人口	世帯
3.87ha	46人	27世帯
津波避難困難地域	○ (避難対象地域一帯)	

白符3町内会

居住区域	人口	世帯
0.95ha	20人	12世帯
津波避難困難地域	○ (避難対象地域一帯)	

津波避難方針

避難先	白符1町内会：白符大神宮境内、吉岡方面（、福島方面） 白符2町内会：福島方面 白符3町内会：福島方面	
避難方法	徒歩避難：△	車避難：○
備考	<p><一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の住民は全て車避難を基本とする ・白符1町内会の住民は吉岡方面（、福島方面）へ車避難を主とするが、白符大神宮周辺に居住の住民は徒歩で白符大神宮境内へ避難 ・白符2,3町内会の住民は福島方面へ車避難 	

その他整備方針

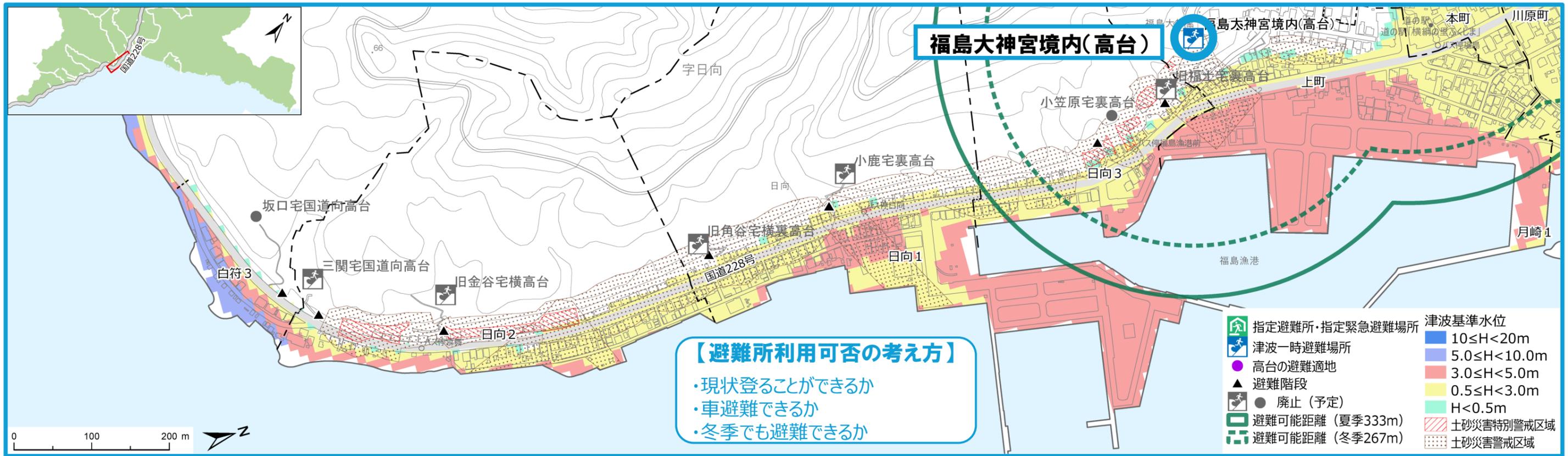
- 【白符大神宮境内】
- ・備蓄コンテナの整備

平時の活用方針

-



【沿岸部】日向地区の津波避難困難地域



×旧角谷宅横裏高台×

・階段は草木が生い茂っており、敷地も草木で覆われていることから廃止

×小鹿宅裏高台×

・階段及び敷地には草木が生い茂っており、冬季は階段の積雪量も多いことから廃止

×三関宅国道向高台×

・階段及び敷地には草木が生い茂っており、冬季は階段の積雪量も多いことから廃止 (緊急時の避難は可能)

×旧金谷宅横高台×

・段差の異なる階段やスロープが混在しているほか、冬季は階段や敷地周辺の積雪量も多いことから廃止 (緊急時の避難は可能)

×小笠原宅裏高台×

・階段は草木が生い茂っており、敷地も草木で覆われていることから廃止

×旧福土宅裏高台×

・民家の間にあり、車避難が出来ないことに加え、冬期は積雪量も多いことから廃止

日向2町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
3.09ha	51人	31世帯

津波避難困難地域 ○ (避難対象地域一帯)

備考

・町内会全体が津波避難困難地域に設定されており、緊急時以外は徒歩での避難が難しい

日向1町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
4.64ha	70人	39世帯

津波避難困難地域 ○ (避難対象地域一帯)

備考

・町内会全体が津波避難困難地域に設定されており、緊急時以外は徒歩での避難が難しい

日向3町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
1.98ha	45人	22世帯

津波避難困難地域 ○ (避難対象地域一帯)

備考

・特に沿岸部西側エリアの住民は、冬季における「福島大神宮境内(高台)」への徒歩避難が難しい

【沿岸部】日向地区の津波避難方針

日向2町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
3.09ha	51人	31世帯
津波避難困難地域	○ (避難対象地域一帯)	

津波避難方針

避難先	福島方面 (高台の避難適地③)	
避難方法	徒歩避難：△	車避難：○
備考	<一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など> ・地区内の住民は全て福島方面への車避難を基本とする ・徒歩避難の場合は高台の避難適地③	

その他整備方針

平時の活用方針

日向1町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
4.64ha	70人	39世帯
津波避難困難地域	○ (避難対象地域一帯)	

津波避難方針

避難先	福島方面	
避難方法	徒歩避難：×	車避難：○
備考	<一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など> ・地区内の住民は全て福島方面への車避難を基本とする	

その他整備方針

平時の活用方針

日向3町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
1.98ha	45人	22世帯
津波避難困難地域	×	

津波避難方針

避難先	福島大神宮境内(高台)、福島方面	
避難方法	徒歩避難：△	車避難：○
備考	<一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など> ・東側エリアに居住する住民は福島大神宮境内への徒歩避難or福島方面への車避難を基本とする ・西側エリアに居住する住民は福島方面への車避難を基本とする	

その他整備方針

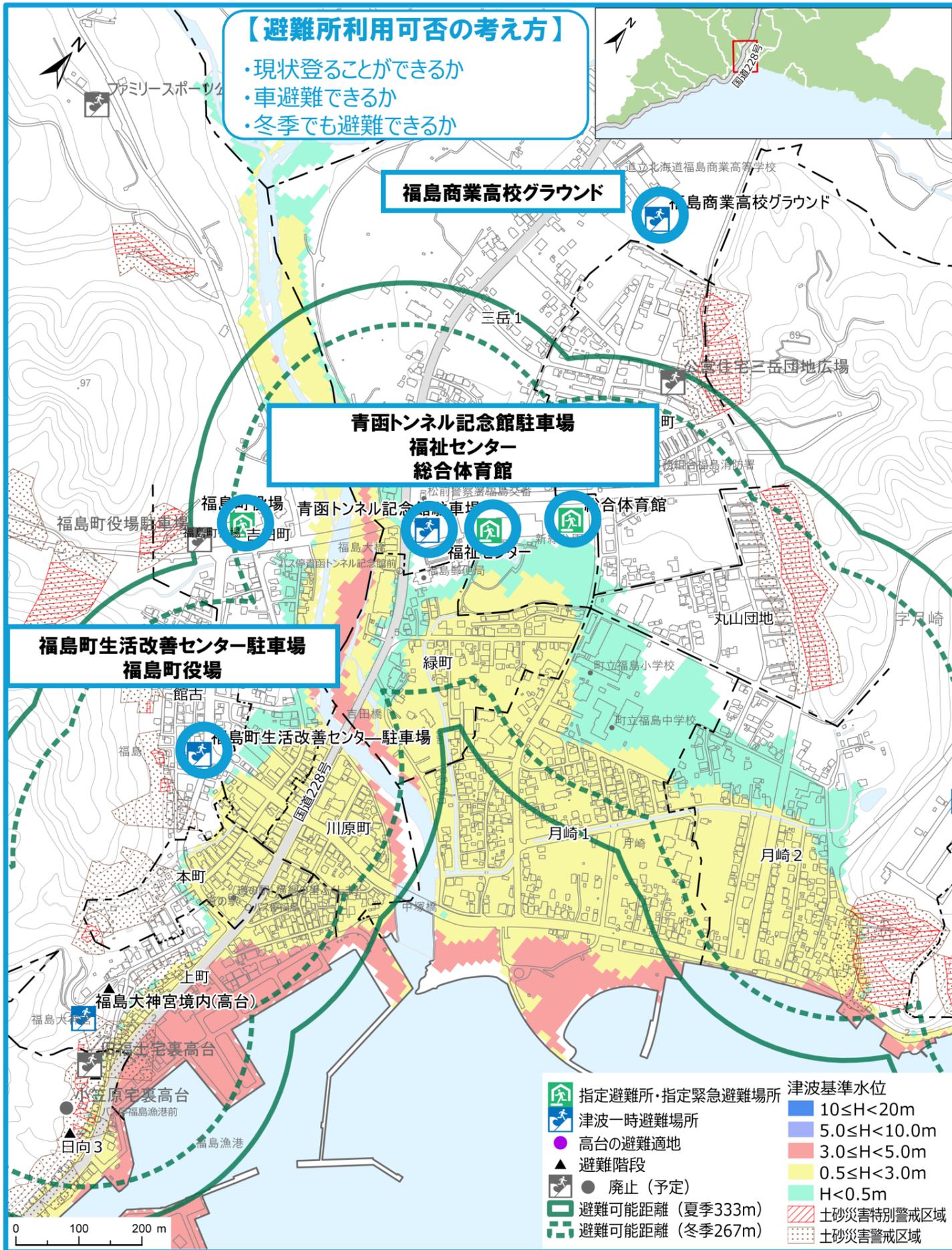
平時の活用方針



【市街地部】館古・三岳・新栄地区の津波避難困難地域

【避難所利用可否の考え方】

- ・現状登ることができるか
- ・車避難できるか
- ・冬季でも避難できるか



福島商業高校グラウンド

福島商業高校グラウンド

青函トンネル記念館駐車場
福祉センター
総合体育館

福島町生活改善センター駐車場
福島町役場

- 指定避難所・指定緊急避難場所
- 津波一時避難場所
- 高台の避難適地
- 避難階段
- 廃止 (予定)
- 避難可能距離 (夏季333m)
- 避難可能距離 (冬季267m)
- 津波基準水位
- 10 ≤ H < 20m
- 5.0 ≤ H < 10.0m
- 3.0 ≤ H < 5.0m
- 0.5 ≤ H < 3.0m
- H < 0.5m
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

×福島町役場駐車場×

- ・隣に指定緊急避難場所 兼 指定避難所である「福島町役場」が別の避難場所として指定されていることから廃止 (緊急時の避難は可能)

×公営住宅三岳団地広場×

- ・避難目標地点から大きく離れており、道中に土砂災害警戒区域があることから廃止 (緊急時の避難は可能)

×ファミリースポーツ公園×

- ・冬季は公園が閉鎖されていることから廃止 (積雪寒冷期以外の避難は可能)

館古・三岳1・新栄町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
5.05ha	2人	2世帯

津波避難困難地域

×

備考

- ・避難対象地域に居住する住民の全てが徒歩避難で避難目標地点外へ避難することが可能

館古町内会

居住区域	人口	世帯
34.87ha	28人	21世帯

津波避難困難地域

×

備考

- ・避難対象地域に居住する住民の全てが徒歩避難で避難目標地点外へ避難することが可能

三岳1町内会

居住区域	人口
13.61ha	2人

津波避難困難地域

×

備考

- ・避難対象地域に居住する住民の全てが徒歩避難で避難目標地点外へ避難することが可能

新栄町内会

【市街地部】館古・三岳・新栄地区の津波避難方針

館古・三岳・新栄町内会

避難対象地域

館古町内会

居住区域	人口	世帯
5.05ha	2人	2世帯
津波避難困難地域		×

三岳1町内会

居住区域	人口	世帯
34.87ha	28人	21世帯
津波避難困難地域		×

新栄町内会

居住区域	人口	世帯
13.61ha	2人	2世帯
津波避難困難地域		×

津波避難方針

避難先 (避難目標地点到達後)	館古町内会：福島町生活改善センター駐車場、福島町役場 三岳1町内会・新栄町内会：青函トンネル記念館駐車場 福祉センター、総合体育館 福島商業高校グラウンド	
避難方法	徒歩避難：○	車避難：×
備考	<一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など> ・地区内の住民は徒歩避難を基本とする	

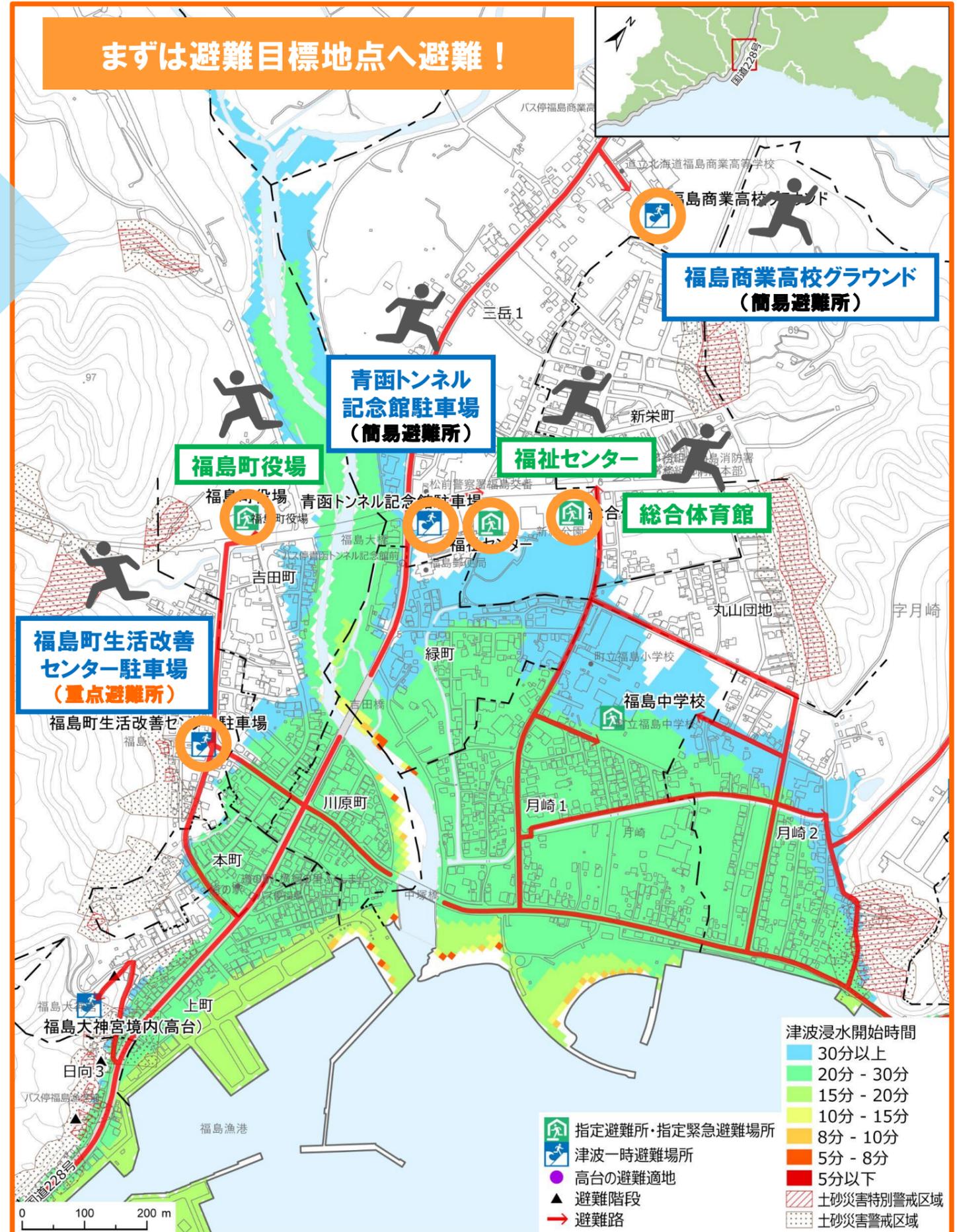
その他整備方針

- 【福島町生活改善センター】
 - ・建物を除却し防災公園として整備
- 【福島町役場】
 - ・施設のクーリングシェルター化

平時の活用方針

- 【福島町改善センター駐車場】
 - ・防災公園としての活用
- 【青函トンネル記念館駐車場】
 - ・各種町内イベントの会場として活用

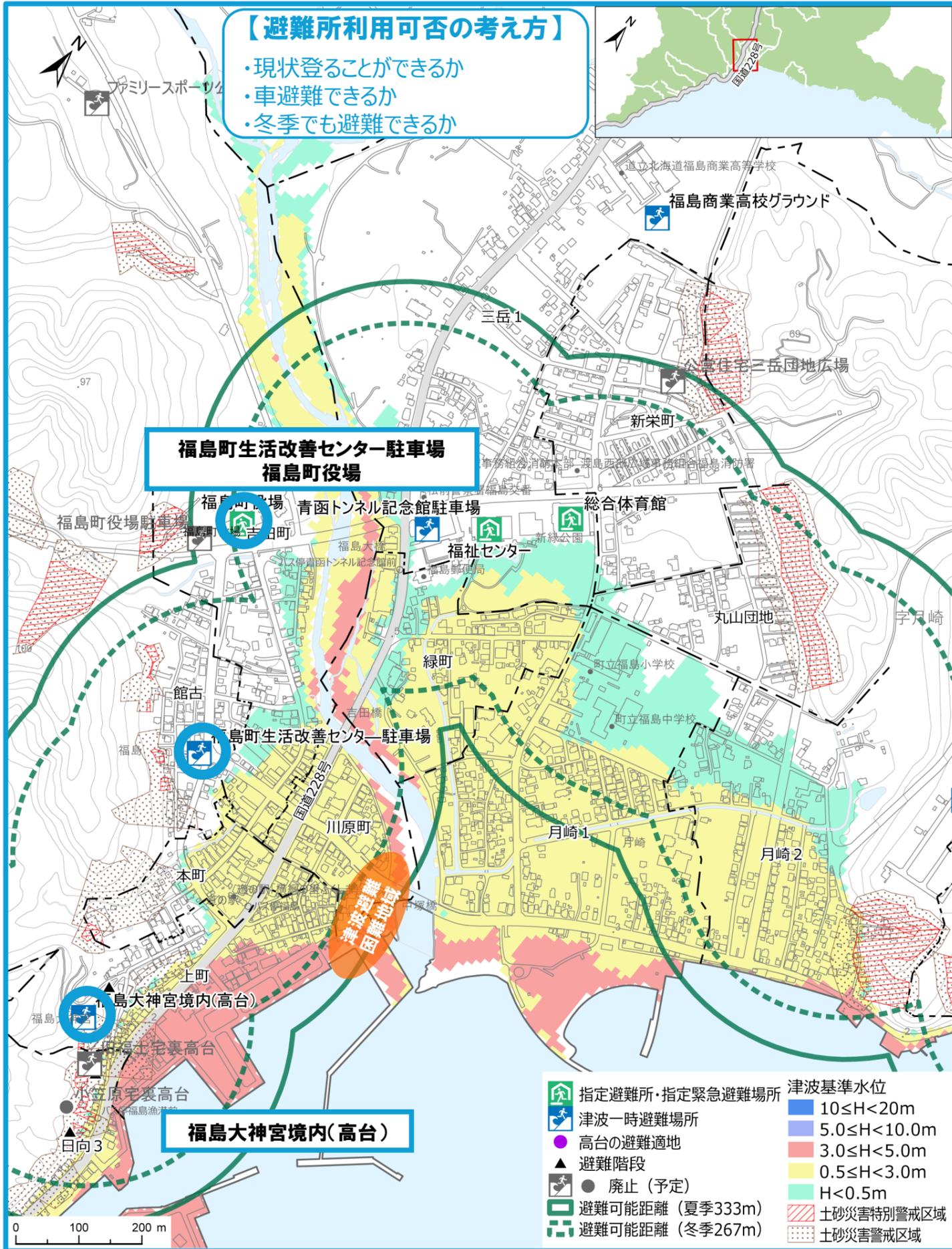
まずは避難目標地点へ避難！



【市街地部】福島地区の津波避難困難地域

【避難所利用可否の考え方】

- ・現状登ることができるか
- ・車避難できるか
- ・冬季でも避難できるか



川原町、吉田町、本町、上町町内会

避難対象地域

川原町町内会

居住区域	人口	世帯
4.66ha	43人	26世帯
津波避難困難地域	○ (川沿いの一部)	
備考		
・特に川沿いに居住している一部住民は、最も近い避難目標地点への徒歩避難が難しい		

吉田町町内会

居住区域	人口	世帯
14.14ha	41人	22世帯
津波避難困難地域	×	
備考		
・避難対象地域に居住する住民の全てが徒歩避難で避難目標地点外へ避難することが可能		

本町町内会

居住区域	人口	世帯
3.36ha	44人	24世帯
津波避難困難地域	×	
備考		
・避難対象地域に居住する住民の全てが徒歩避難で避難目標地点外へ避難することが可能		

上町町内会

居住区域	人口	世帯
6.80ha	128人	76世帯
津波避難困難地域	○ (沿岸の一部)	
備考		
・特に沿岸に居住している一部住民は、最も近い避難目標地点への徒歩避難が難しい		

【市街地部】福島地区の津波避難方針

川原町. 吉田町. 本町. 上町町内会

避難対象地域

川原町町内会

居住区域	人口	世帯
4.66ha	43人	26世帯
津波避難困難地域	○ (川沿いの一部)	

吉田町町内会

居住区域	人口	世帯
14.14ha	41人	22世帯
津波避難困難地域	×	

本町町内会

居住区域	人口	世帯
3.36ha	44人	24世帯
津波避難困難地域	×	

上町町内会

居住区域	人口	世帯
6.80ha	128人	76世帯
津波避難困難地域	○ (沿岸の一部)	

津波避難方針

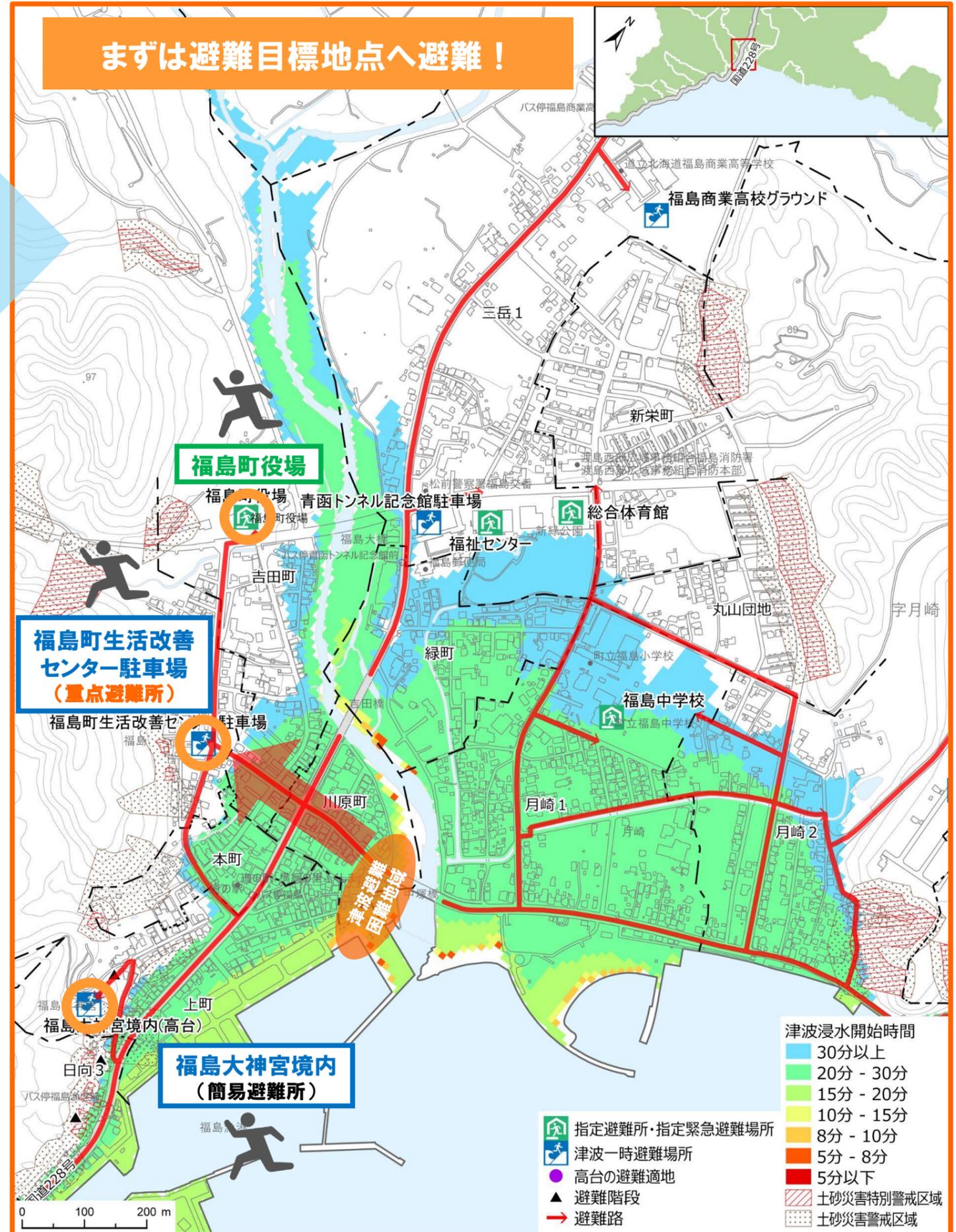
避難先 (避難目標地点到達後)	川原町. 吉田町. 本町町内会 : 福島町生活改善センター駐車場、福島町役場 上町町内会 : 福島町生活改善センター駐車場、福島町役場、 福島大神宮境内
避難方法	徒歩避難 : ○ 車避難 : ○
備考	<p><一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉田町. 本町町内会の住民は徒歩避難を基本とする ・川原町. 上町町内会のうち、国道周辺に居住する住民は徒歩避難を推奨する。一方、避難困難地域周辺 (沿岸部、川沿い) に居住する住民は車避難を基本とする (避難先 : 福島生活改善センター駐車場)

その他整備方針

- 【福島町生活改善センター】
- ・建物を除却し防災公園として整備
- 【福島町役場】
- ・施設のクーリングシェルター化

平時の活用方針

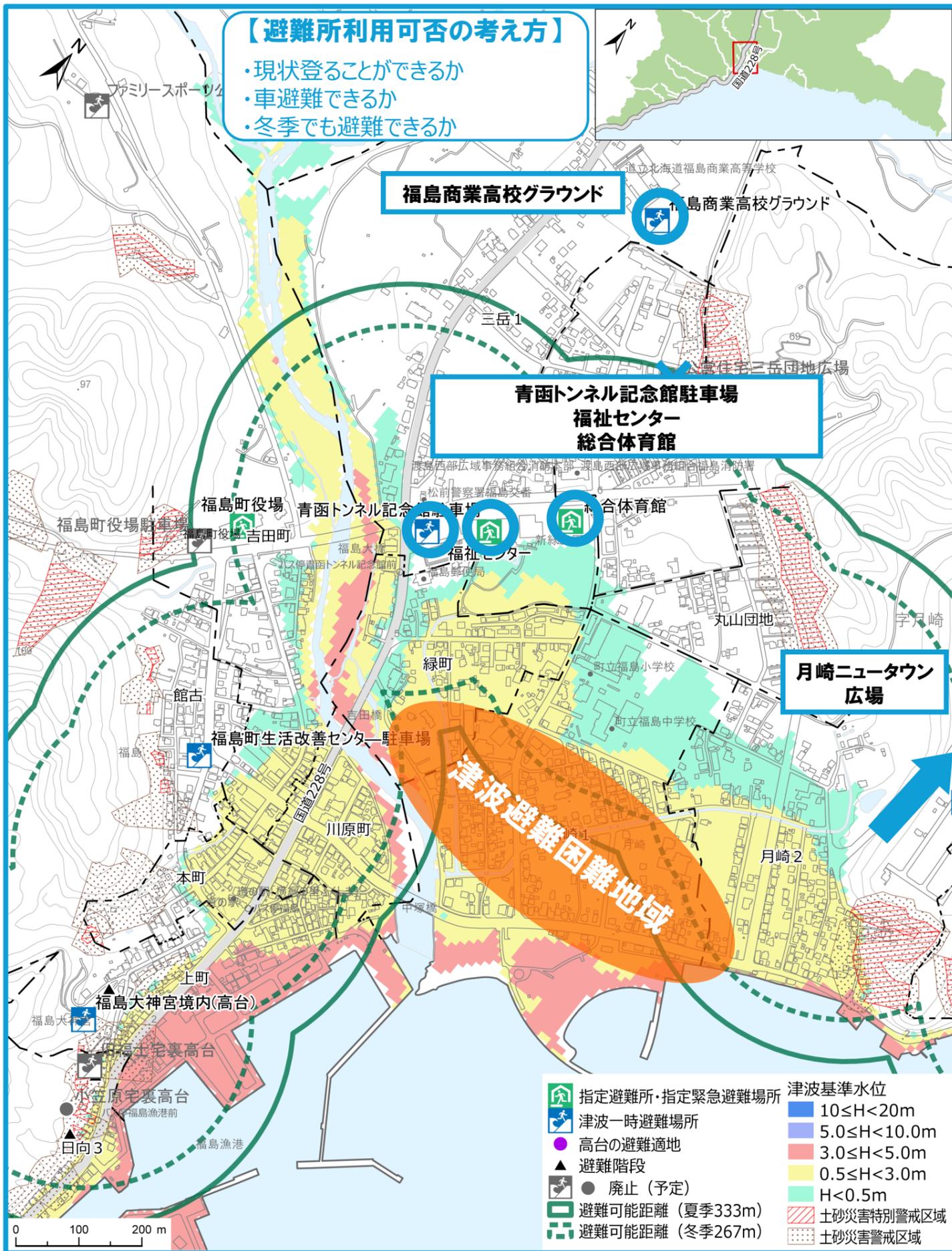
- 【福島町改善センター駐車場】
- ・防災公園としての活用



【市街地部】緑町・丸山団地・月崎地区の津波避難困難地域

【避難所利用可否の考え方】

- ・現状登ることができるか
- ・車避難できるか
- ・冬季でも避難できるか



緑町・丸山団地・月崎町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
8.32ha	107人	62世帯
津波避難困難地域	○ (一部)	
備考		
・一部住民は、特に冬季において最も近い避難目標地点への徒歩避難が難しい		

緑町町内会

居住区域	人口	世帯
5.39ha	6人	3世帯
津波避難困難地域	×	
備考		
・避難対象地域に居住する住民の全てが徒歩避難で避難目標地点外へ避難することが可能		

丸山団地町内会

居住区域	人口	世帯
22.74ha	232人	125世帯
津波避難困難地域	○ (大部分)	
備考		
・町内会のうち、大部分の住民が最も近い避難目標地点への徒歩避難が難しい		

月崎1町内会

居住区域	人口	世帯
16.50ha	140人	73世帯
津波避難困難地域	○ (沿岸の一部)	
備考		
・特に沿岸に居住している一部住民は、最も近い避難目標地点への徒歩避難が難しい		

月崎2町内会

【市街地部】緑町・丸山団地・月崎地区の津波避難方針

緑町・丸山団地・月崎町内会

避難対象地域

緑町町内会

居住区域	人口	世帯
8.32ha	107人	62世帯
津波避難困難地域	○ (一部)	

丸山団地町内会

居住区域	人口	世帯
5.39ha	6人	3世帯
津波避難困難地域	x	

月崎1町内会

居住区域	人口	世帯
22.74ha	232人	125世帯
津波避難困難地域	○ (大部分)	

月崎2町内会

居住区域	人口	世帯
16.50ha	140人	73世帯
津波避難困難地域	○ (沿岸の一部)	

津波避難方針

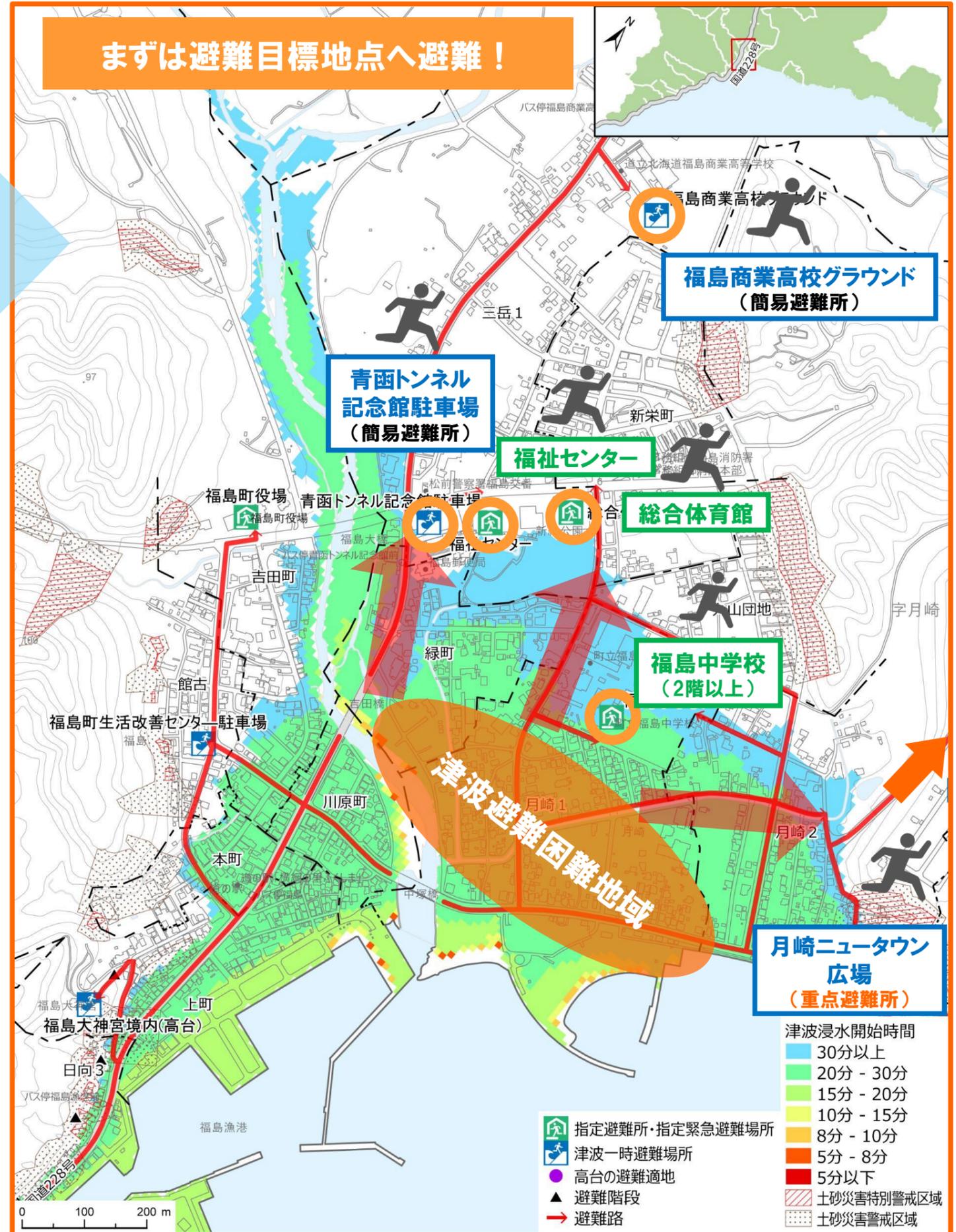
避難先 (避難目標地点到達後)	緑町、丸山団地町内会：青函トンネル記念館駐車場、総合体育館、福祉センター、福島商業高校グラウンド 月崎2町内会：福島中学校、月崎ニュータウン広場など 月崎1町内会：福島中学校、など
避難方法	徒歩避難：○ 車避難：○
備考	<p><一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑町、月崎1・2町内会の住民は福島中学校への徒歩避難もしくは浸水エリア外への車避難を基本とする (月崎1・2町内会の内、沿岸部(津波避難困難地域)に居住の住民は福島中学校・月崎ニュータウン広場への車避難を推奨)

その他整備方針

- 【福島中学校(2階以上)】
- ・備蓄品の配備
- 【月崎ニュータウン広場】
- ・備蓄コンテナの整備

平時の活用方針

- 【青函トンネル記念館駐車場】
- ・各種町内イベントの会場として活用



【沿岸部】塩釜・浦和・岩部地区の津波避難困難地域



【避難所利用可否の考え方】

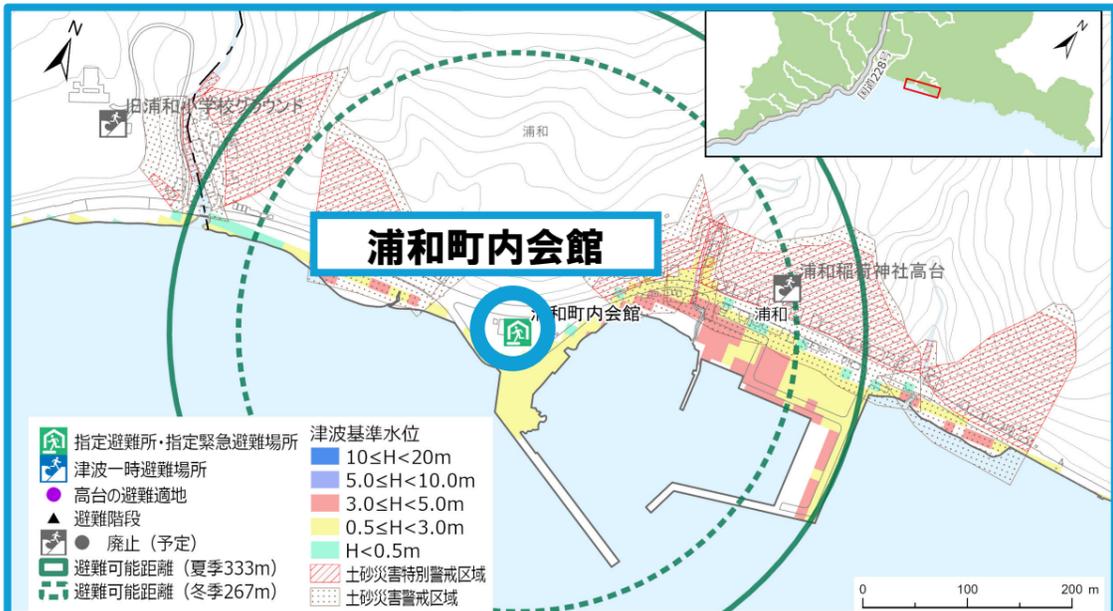
- ・現状登ることができるか
- ・車避難できるか
- ・冬季でも避難できるか

×古谷宅裏高台×

・当該高台に近接しており指定緊急避難場所兼指定避難所である「塩釜町内会館」の設備が整っていることから廃止

×丸山神社登山入口高台×

・当該高台に近接しており指定緊急避難場所兼指定避難所である「塩釜町内会館」の設備が整っていることから廃止

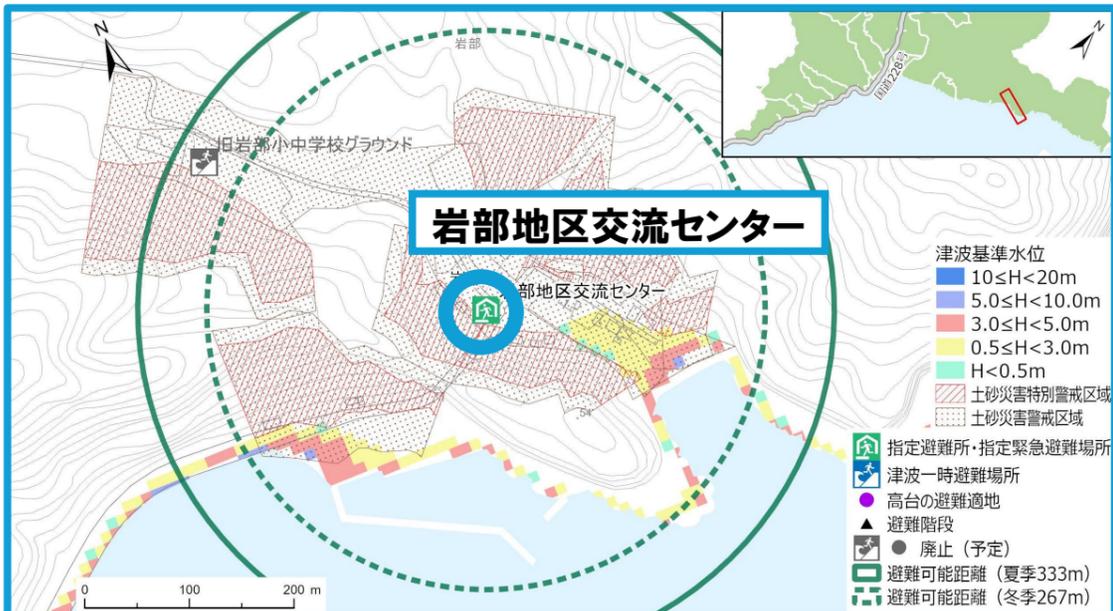


×旧浦和小学校グラウンド×

・当該避難所の近隣エリアに津波避難対象地域が無いことから廃止

×浦和稲荷神社高台×

・階段や敷地周辺に草木が生い茂っているほか、積雪も多いことから廃止



×旧岩部小中学校グラウンド×

・当該高台に近接しており指定緊急避難場所兼指定避難所である「塩釜町内会館」の設備が整っていることから廃止

塩釜町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
5.36ha	19人	10世帯
津波避難困難地域		×

備考

- ・避難対象地域に居住する住民の全てが徒歩避難で避難目標地点外へ避難することが可能（東側エリア居住の住民は津波に向かって避難することが懸念される）

浦和町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
4.52ha	8人	5世帯
津波避難困難地域		×

備考

- ・避難対象地域に居住する住民の全てが徒歩避難で避難目標地点外へ避難することが可能

岩部町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
6.69ha	2人	2世帯
津波避難困難地域		×

備考

- ・避難対象地域に居住する住民の全てが徒歩避難で避難目標地点外へ避難することが可能

【沿岸部】塩釜・浦和・岩部地区の津波避難方針

塩釜町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
5.36ha	19人	10世帯
津波避難困難地域	×	

その他整備方針

—

津波避難方針

避難先	塩釜町内会館	
避難方法	徒歩避難：△	車避難：○
備考	<一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など> ・東側エリアの住民は他と比較して距離があるため、車避難を推奨	

平時の活用方針

—



浦和町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
4.52ha	8人	5世帯
津波避難困難地域	×	

その他整備方針

—

津波避難方針

避難先	浦和町内会館	
避難方法	徒歩避難：○	車避難：○
備考	<一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など> ・道道532号を挟んで山側への避難（徒歩）も可	

平時の活用方針

—



岩部町内会

避難対象地域

居住区域	人口	世帯
6.69ha	2人	2世帯
津波避難困難地域	×	

その他整備方針

—

津波避難方針

避難先	岩部地区交流センター	
避難方法	徒歩避難：○	車避難：○
備考	<一時滞在、冬季避難、エリア別避難の方針など> —	

平時の活用方針

【岩部地区交流センター】
 ・岩部クルーズなどの観光業としての活用



津波が近い時は迷わず近くの山(高台)へ徒歩避難！